



あたたかい日差しを受けて笑顔のキャッチボール（詳細はP8）

題字：野中ツナさん（特養住民）

やすらぎ

No. 32

2006 夏号

平成18年6月25日発行

主な内容

職員新体制の報告	P 2
ヘルパーご利用者にスポット	P 3
特養が抱える問題を考える	P 4
地域との二人三脚	P 5
平成17年度決算報告	P 6



『故郷が沢内でよかった』と語る
久保キエさん (79)

年配の方の長い人生の足跡は、楽しいことも、辛いこともすべてその方の『今』を創っているものであり、年輪のように積み重なっていきます。その足跡に込められた思いを、サービス利用者のお一人にお伺いしました。

ねんりん

久保キエさん (太田)
ホームヘルプ
サービスご利用

私は野々宿で生まれて、母の実家である久保家に三歳の時養女に入ったんですよ。当時は沢内においても仕事が無くてね、家族で北海道に行き函館での生活が長かったんですよ。若いころは沢内と函館を行ったり来たり生活。戦争の真っ只中に沢内が心配でこちらに戻って来ましたが、戦争が無かったら沢内には住んでいませんでしたよ。

婦人会との出会いが私の宝

そのころは恋愛なんてする暇もなくて、私もあの人(故・久保俊郎氏)も義理で結婚したようなものです。洒落た素敵な人だと思っただけでしたが、まさかその人と一緒にいるとは思いませんでした。

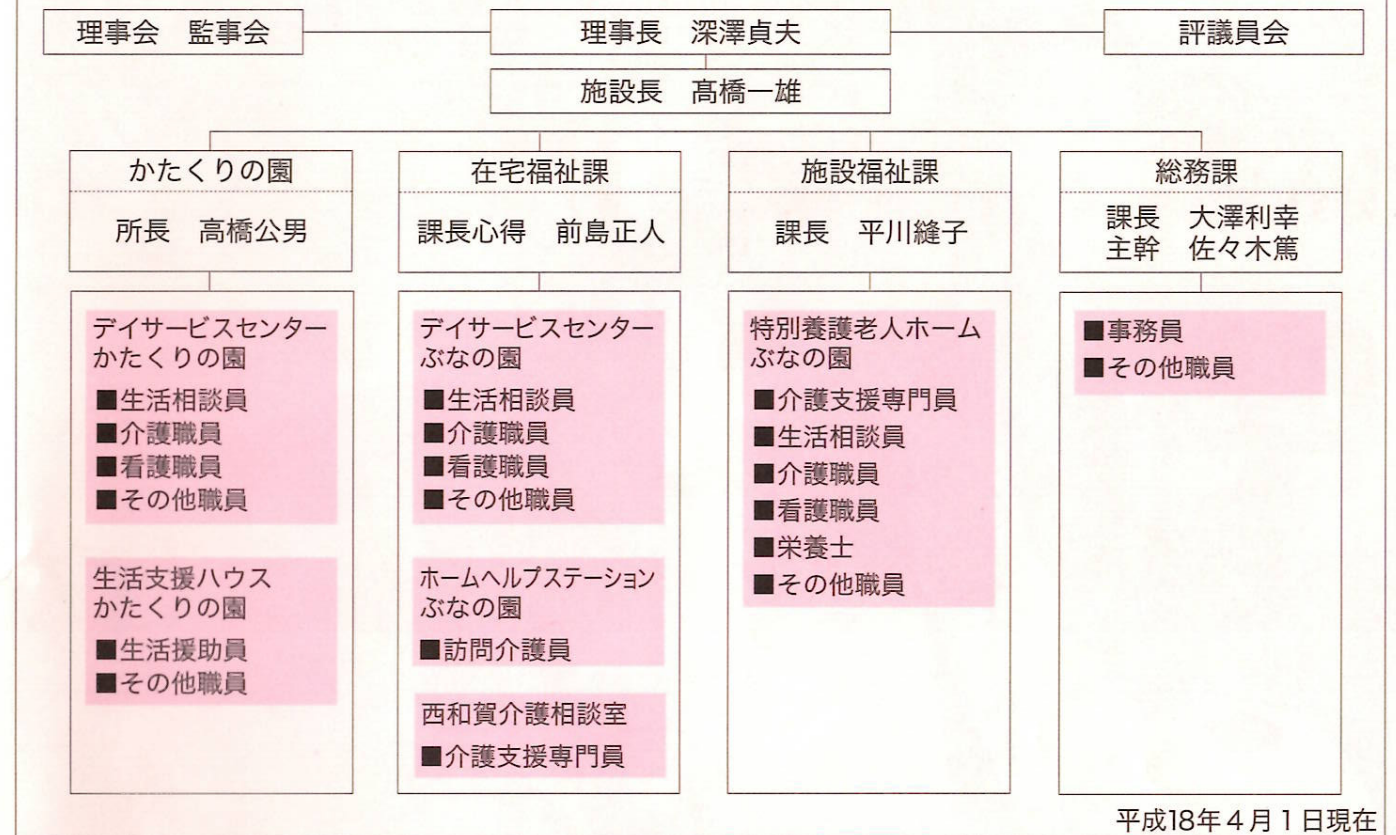


夫と孫と3人で撮った懐かしいお写真

結婚後は東京暮らしをしていましたが、父の要請もあり沢内での生活が始まったんですよ。田んぼや畑をしながらの暮らしの中で結構おもしろくやりました。婦人会ともそこで出会ったんですよ。そしたらおもしろくてねえ、私は誰かとか何かが一つのことを達成するのがすごく嬉しいというか、そういうのが好きだったことがここ(沢内)に来てわかったんです。家で朝から晩まで田んぼや畑をやって、子どもを養って、それで精一杯の時代でしたからね。そんな中では味わえない、みんなの力を合わせれば何かの役に

立てるっていう達成感でしょうね。すごい魅力があったんですよ。そして新しいことを覚えたい、勉強したいっていうことが婦人会学級につながったしね。婦人会活動と出会っていなかったら何してたかな。やっぱりみんなで力を合わせて何かをするってことは素晴らしいことだから、今思えば沢内に戻って来てよかったですね。故郷が沢内でよかったと心から思っていますよ。

平成18年度 やすらぎ会組織機構図



《平成18年4月1日発令人事異動》※所属部署等が変わった職員のみご紹介させていただきます。

氏名	異動後	異動前
前島 正人	在宅福祉課長心得兼デイサービスぶなの園生活相談員	在宅介護支援センター生活相談員
高橋 正広	デイサービスかたくりの園生活相談員兼介護職員	特養ぶなの園介護職員
梶本 明男	特養ぶなの園介護職員	デイサービスかたくりの園生活相談員兼介護職員
高橋 宏明	特養ぶなの園生活相談員	← デイサービスぶなの園生活相談員
高橋 涉	総務課事務職員	特養ぶなの園生活相談員
佐々木菜穂子	デイサービスぶなの園看護職員	特養ぶなの園看護職員
清水 直子	特養ぶなの園看護職員	特養ぶなの園機能訓練指導員
高橋 千恵子	特養ぶなの園看護職員兼デイサービスぶなの園看護職員	デイサービスぶなの園看護職員

『課制』導入し 新体制

介護保険事業の運営が健全かつ円滑に行なわれるために、業務組織の見直しを進めてまいりました。かたくりの園には、開設以来所長制を執り管理運営をしてまいりましたが、ぶなの園では五つの事業所ごとに責任者を発令して業務を執行してまいりました。内容の複雑化、たび重なる制度改正、業務量の増大に迅速にして正確に対応、支援するために、今年度より『課制』を導入することといたしました。総務課、施設福祉課、在宅福祉課の三課体制であります。(かたくりの園は従来通り) 思いやりを基本に責任体制を明確にして、利用者へのサービスの万全を期してまいりますので、今後ともご指導いただきますことをよろしくお願いいたします。

シリーズ

特養を考える 1

シリーズ『特養を考える』は、特養の解決困難な問題、サービスの提供側の悩みをありのままお知らせするコーナーです。ご本人やご家族の思いを受け止め日常生活のご援助をさせていただくうえで、見えな壁となっている障害が少なくありません。その一部を全4回のシリーズでご紹介していきます。

ぶなの園に入所申込みに来られる方のほとんどは、様々な状況により自宅での生活、介護が困難になり、施設入所を最終的な拠りどころとして来園されま

す。申込み時には要介護度、心身状況、介護者の状況などをお伺いしておりますが、いずれも差し迫った状況であることが伝わってきます。しかし現状は厳しく、申込みをされてもすぐに入所することはできません。入所までの間は他施設や在宅での待機となり、中には申込みから数年経過している方もおります。

施設の数が必要に対してまだまだ不足しているうえに、平成十五年度からは入所決定に関する指針が適用され、それまで申込み順を重視して入所決定していたものが入所の必要性の高い方を優先する方法に改正されたことが大きな要因となっております。

いくら待っても入所できない!?

この改正により介護度が高くて介護できる家族がいらない方などは緊急性が高いと判断され、優先的に入所できるようになりました。逆に介護度が低く同居家族がいる

方などはなかなか入所の順番がまわってこないという状況が発生し、全体的な待機期間の長期化につながっています。

介護度1でも認知症などにより介護者の負担が大きい場合もあります。介護者自身が高齢で、無理をしながら自宅で介護を続けている方もおります。入所検討でそうした状況も考慮はされますが、医療処置の必要性のある介護度の高い方などから申込みを受ければ、

どうしても後者を優先せざるを得ません。高齢化に拍車がかかる昨今、みんなが納得する方法を見出すことは不可能に近いです。ただしこれを待機者だけの問題と捉えずに、在宅生活の継続が可能になるような、あるいは在宅に近いかたちで利用できる施設整備を呼びかけていくことが、私たちに求められていることだと感じています。

施設福祉課長 平川 縫子

出身地別、要介護度別、待機場所別待機者数

■出身地別						待機者総数 (5月末日現在) 42名
西和賀町	北上市	その他				
35名	4名	3名				
■要介護度別						
介護度5	介護度4	介護度3	介護度2	介護度1	その他	
2名	8名	10名	11名	11名	0名	
■待機場所別						
在宅		医療機関		他施設		
22名		5名		15名		

入所を希望する主な理由

- ①ひとり暮らしや介護者が高齢であるため介護が困難…… 12名
- ②介護者の精神的、身体的な負担が大きい…………… 11名
- ③在宅での介護が困難で入所施設や病院にいるが、退所(退院)を求められている。…………… 10名
- ④介護者が就労をしているため、十分な介護が困難である 7名
- ⑤その他…………… 2名

地域との二人三脚

地域の方に「こえ」を寄せていただくコーナーです。今回は『どれみの会』代表の高橋ミツ子さんにお話を伺いました。三年ほど前に他界した前代表の思いを受け継ぎ、地域のつながりを大切に活動されている様子をご紹介します。



「どれみの会」代表 高橋ミツ子さん (70)

美しい財産を守り続けます

「どれみの会」が結成されてから約五年の月日が経ちました。この五年の間にはいろいろなことがありましたが、最も大きな出来事はやはり会の代表であった高橋クサ子さんが亡くなってしまったことです。

丸志田地区の女性八人の仲間ボランティアを中心とした活動をしていこうと、クサ子さんの呼びかけで誕生したグループがこの「どれみの会」です。その大黒柱がいなくなってしまう、メンバーのみなも随分力を落としてしま

いました。

しかし、クサ子さんが創った会だからこそ、そこで活動を終わらせるわけにはいきません。新たに高橋アサ子さんにメンバーに加わってもらい、八人の人数を保つて活動を続けています。ドレミファソラシドの八つの音が会の名の由来だから……。

毎週火曜日のぶなの園へのボランティア訪問は今でも続けており、園の皆さんの笑顔と触れ合っています。その他に毎年四月下旬から五月上旬にかけて、

安ヶ沢のかたくり群生地での観光案内等を行なっており、今年で九年目になります。観賞に来られた方への説明はもちろん、売店や車の整理など、皆さんに気持ちよく楽しんでいただくために地区のみんなと協力し合っています。売店ではばっけ味噌、もち、漬け物、とん汁などを販売。中には前の年の秋ころから下準備を始める食材



ぶなの園では洗濯物たたみなどのご協力をいただいています

も。

今年は見ごろの時期が例年より遅れ、そのせいかお客さんの数も若干少なかったです。この美しい環境を地域の財産として守り、来年以降も多くの人に楽しんでいただけるよう努力してまいります。



ボランティア募集のお知らせ

デイサービスぶなの園では日々の活動のお手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。
活動日、時間帯など詳細につきましては下記までお問合せください。お待ちしております。

《活動内容》

趣味、健康運動、脳活性のお手伝い
デイサービス利用の方の話し相手など

《お問合せ》

デイサービスセンターぶなの園
生活相談員 前島正人・泉川世理子
でんわ 85-2322



老朽化によりしばらく撤去していた県道沿いの「ぶなの園」案内看板が、新しく見やすくなりました。建物が県道からやや離れた位置にあるため、初めて来園される方は何よりも看板が頼りになります。新しい看板は明るくシンプルで、「以前より見やすくなった」と好評です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



「ぶなの園」はこちらです!!

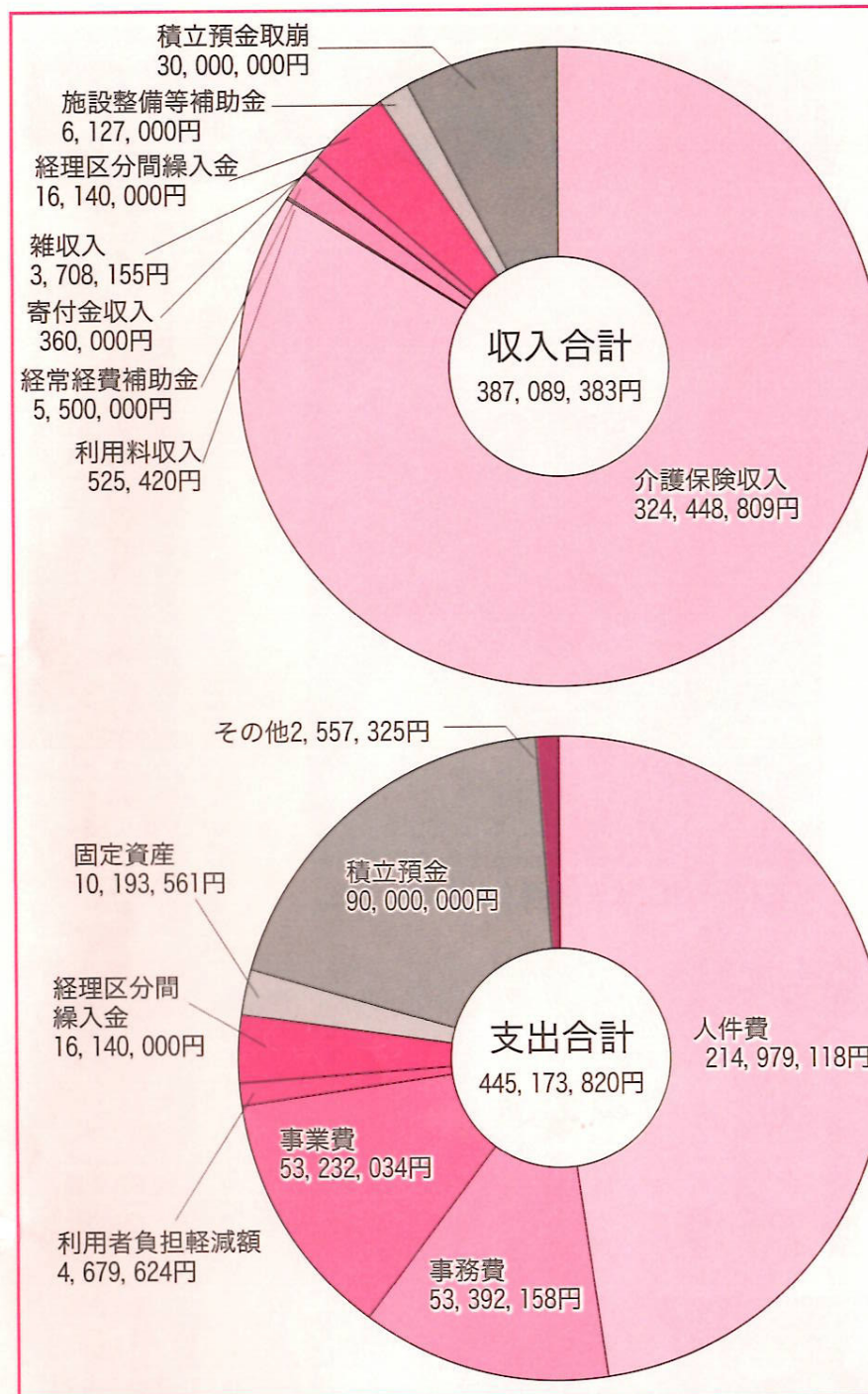
大きな看板でご案内

あゆみ

平成18年
3月～5月

- | | |
|------|-----------------------------|
| 3月1日 | 住民懇談会 |
| 5日 | 高橋直美さん特養退所(逝去) |
| 6日 | 責任者会議 |
| 7日 | 理容ボランティア |
| 9日 | ボランティア感謝の集い |
| 10日 | すしバイキング
お料理クラブ |
| 11日 | 入所検討委員会
高橋七郎さん特養入所(野々宿) |
| 14日 | 鶴ヶ池荘観劇ツアー
ホーム喫茶 |
| 17日 | 地域ケア連絡会議 |
| 18日 | 在宅事業所家族懇談会 |
| 18日 | 春の彼岸法要 |
| 20日 | 鶴ヶ池荘観劇ツアー |
| 22日 | 法人全職員会議
高橋ヤスさん特養退所(長期入院) |
| 23日 | 鶴ヶ池荘観劇ツアー
責任者会議 |
| 24日 | 入所検討委員会 |
| 27日 | 鶴ヶ池荘観劇ツアー |
| 28日 | 評議員会 |
| 29日 | 理事会 |
| 31日 | 佐々木定男さん特養入 |

- | | |
|------|----------------------|
| 4月3日 | 辞令交付式
住民懇談会 |
| 4日 | 理容ボランティア |
| 11日 | 主任会議 |
| 16日 | 特養家族懇談会 |
| 18日 | 課長会議 |
| 21日 | ホーム喫茶
広報委員会 |
| 24日 | 医務連絡会議 |
| 27日 | 防火管理委員会 |
| 28日 | フェンス取付作業
住民懇談会 |
| 5月1日 | 理容ボランティア |
| 2日 | 課長会議 |
| 9日 | 主任会議 |
| 11日 | デイぶな家族懇談会 |
| 12日 | 花見ドライブ |
| 16日 | 課長会議 |
| 18日 | 雪囲い撤去作業 |
| 19日 | ホーム喫茶 |
| 21日 | 沢内中学校運動会見学 |
| 22日 | 法人内部監査 |
| 24日 | 評議員会 |
| 25日 | 理事会 |
| 27日 | 職員健康診断 |
| 29日 | 第一小学校運動会見学
職員健康診断 |



平成17年度 やすらぎ会 決算報告

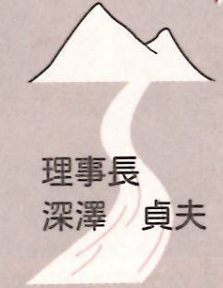
去る5月24日にやすらぎ会評議員会、25日に理事会が開催され、平成17年度の法人収支決算報告が行なわれました。

制度改正、介護報酬引下げ等により事業運営は年々厳しさを増しており、経費削減を含めた事業展開の検討が急務です。



決算の報告を受ける法人理事の皆さん

和賀川



理事長 深澤 貞夫

■ 社会福祉法人やすらぎ会の使命は、利用者の満足と地域社会の満足にいかに関与するかにある。その一つに「エリア・サービスの充実」が挙げられる。

■ エリア・サービスというのは、広場・交流スペースや施設設備などを整備して提供するというものである。

■ 利用者の社会参加と施設の活性化のためには、地域社会との交流が不可欠。園児、小学生の訪問、中学生の職場体験、介護実習生の受入れ、介護予防に役立つ老人クラブの支援活動、ボランティアの援助などがある。

■ 幼児やそのお母さんはいつでも大歓迎。利用者は、かわいい幼児の手をにぎっただけでも嬉しそうである。安全で安心な施設は、子育てにも役立つものである。

■ 語り部活動、昔遊びの体験活動、歌や踊りの伝承活動などは、利用者の健やかなる老化に役立つものである。

表紙の写真

春を待っていたはずなのに夏がやってきたような、5月半ばのデイサービスぶなの園の昼下がり。

まりを投げて受け取って、また投げて、それだけなのになぜか笑う、楽しい、気持ちがいい。こんな素敵な時間、皆さんも一緒にませんか。



平成18年3月～5月

【ご寄付】

・北島文子様

【ご寄贈】

・刈田敏博様
・盛島栄治様
・高橋康文様

【ボランティア等】

・どれみの会様	(洗濯たたみ等)
・高橋吉二様	(車イス修理)
・長瀬野婦人会様	(ホーム喫茶)
・泉沢婦人会様	(ホーム喫茶)
・太田婦人会様	(ホーム喫茶)
・カタクリの友様	(掃除等)
・高橋良子様	(デイ支援)
・おはなし「きらきら」様	(紙芝居)
・志賀来の会様	(踊り披露)
・高橋康文様	(おはなし)
・加藤節子様	(おはなし)
・民舞同好会様	(踊り披露)
・菊の会様	(唄、踊り披露)

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会

- 特別養護老人ホームぶなの園
- デイサービスセンターぶなの園
- ホームヘルプステーションぶなの園
- 西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

- 高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389



編集後記

トラクターで田んぼや畑を掘り起こしていると、どこからともなくカラスたちがやってくる。大きなエンジン音もまったく気にする様子なし。気になるのは土と一緒に掘り返されたミミズ、カエル・・・。

ご馳走をついばむ姿を見て思う。「このしたたかさは見習うものがあるな」、「ミミズやカエルに恨まれてるだろうな」
陽が落ちてくると寄ってくる蚊には、やられっぱなしである。

W・T